



2022年5月10日

各位

会社名	参天製薬株式会社
代表者名	代表取締役社長兼 CEO 谷内 樹生 (コード番号 4536 東証プライム)
問合せ先	IR 室 室長 佐久間 ギヨム (TEL 06-7664-8621)

(開示事項の中止)「単独株式移転による持株会社体制への移行および決算期 (事業年度の末日)の変更」に関するお知らせ

参天製薬株式会社(本社:大阪市、以下、「当社」)は、2021年2月4日付「単独株式移転による持株会社体制への移行および決算期(事業年度の末日)の変更に関する準備開始のお知らせ」に記載の通り、2022年4月1日を目途に持株会社体制への移行、ならびに2022年1月1日付での決算期(事業年度の末日)変更(以下、「本件」)を予定し、その後、2021年5月11日付でその延期をお知らせしておりました。本日開催の取締役会において本件を中止することを決議いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本件中止の理由

当社は、長期ビジョンである **Santen 2030** を着実に実現すべく、本件に関する準備を進めておりましたが、経営環境の短期的変化等を総合的に勘案した結果、昨年本件の延期を発表いたしました。その後、更に議論を重ね、いち早く中期経営計画 (**Medium-Term Plan 2025**) に掲げている持続的成長に向けた収益力向上を図るため、現行の体制を維持することが必要であると判断し、持株会社体制への移行及び決算期の変更を中止することといたしました。

なお、経営の執行体制を強化することが肝要であると判断し、本年4月にエグゼクティブ・マネジメント・チーム(以下、「EMT」)体制へと刷新しました。この刷新により、地域・領域ともに広がる各事業のヘッドと戦略・オペレーションをグローバル視点でリードする **Centers of Excellence** が機動的に連携し、スピーディかつ全社視点で最適な意思決定を行うグローバルなマネジメント体制を構築し、業務執行のガバナンス体制の強化を意図しています。今後は **EMT** を基軸とした執行体制のもとでグローバル企業としての競争力と戦略実行力を強化してまいります。

2. 今後の見通し

本件が当社の今期連結業績に与える影響はありません。

以上

Santen(参天製薬株式会社、本社:大阪市)について

Santen は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っており、世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しています。

Santen が目指す理想の世界、「WORLD VISION」(Happiness with Vision)の実現に向け、世界中の技術や組織・人材をつなぎ、「見る」を通じて人々の幸せを実現する Social Innovatorとして、眼の疾患や不具合に起因する世界中の人々の社会的・経済的な機会損失を削減することを目指します。

130年の歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、製薬企業としての枠を越え、患者さん起点で眼科医療ソリューションの開発と提供に取り組み、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心に社会への貢献を果たしていきます。

詳細については、当社ホームページ <https://www.santen.com/ja/>をご参照ください。